

2016年6月25日(土) 連続公開講座  
「ナマの文化がひとをつなぐ！ハッピーをつくる！」 アンケート感想

大変楽しい一時をありがとうございました。生活の中から学んでいく実践を生徒とともに双方でがんばっていこうと思います。

子どもの可能性を信じる授業、すばらしいと思いました。金森俊朗先生、これからもお元気で活躍ください。

子ども達に紙芝居を絶対演じたいと決心しました。75歳まで元気に過ごせそうです(というか、元気で頑張れるよう、気合が入りました。野間・金森先生の最強タッグの講座に参加できてよかったです。金森先生のお体が心配です。

楽しい時間と笑顔を頂きました。宿題もありましたので、また一人で考えて生きていきます。他者と関わりながら・・・

病気をしての話、胸があつくなりました。教育への想いをしっかり話され、受け止めてました。野間さんの紙芝居は芸です。

思いつきり笑いました。参加できてよかったです。

東京都の大学から金森先生のお話を一度聞きたいと思ひ参りました。「心に人を住まわせる」ことの大切さを実感するお話でした。

本当に来て良かった。お話を聞くことができて良かった。紙芝居の利用見直ししていきます。

ありがとうございます。毎回金森先生のお話を聞いて「考えることの深さ」を考えさせられます。

心がほかほか温まる素敵な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

野間先生の紙芝居が面白かったです。子どもたちは成長すると、感情を表に出すことを恥ずかしく感じているのですが、そのことを吹き飛ばすような野間先生の紙芝居はとてつとでできるものではないと思いました。今回の事をこれからの仕事でも生活でも役立てていきたいです。

ナマの文化、リアリティーの深さ、大事さをもっともっと大切にしていきたいと思った。安心文化の場をもっとつくっていききたい。

のまりん先生と金森先生のお話、そしてパワーに元気を頂きました。これからの自分の生活や人生に生かしていけたらいいなと思います。今日は本当にありがとうございました。

いろいろ考えさせられました。宮城からでも来て本当に良かったと思います。機会があればまた参加したいと思います。

久々に野間さんの実演をたっぷり味わい、改めて日々の変わらぬ努力に驚きました。金森さん、回復されたようでほっとしました。どうぞ何よりも体を大切に。二人のセットで私たち生活教育が大切にしていたものを実感できました。ありがとう。

紙芝居ってこんなにも楽しく、人をハッピーにさせてくれるものだとということをはじめで知りました。やはり、野間先生のこだわり、想いがそうさせるのだと思いました。早速、学校の紙芝居を見ようと思います。金森先生のお話も久しぶりに聞くことができ、本当にうれしかったです。聞くことで元気がもらえます。また、月曜からクラスを思いきりやろうと思います。安心して大笑いできるクラスを目指しています。本当にありがとうございました！野間先生にも、金森先生にも、是非、静岡にも着ていただきたいです。

いつも気づかない視点を示していただき、教育への光をもらっています。本当にありがとうございます。同時にちゃんと戦略を立て、やっていかねばとも思われます。これからもビシバシお願いします。

金森先生、野間先生からパワーと温かさを頂きました。子どもたちを大切にしていきたい。もっともっと勉強したいと思いました。ありがとうございました。

野間さんの紙芝居ライブはお腹の底から笑えました。私は野間さんの紙芝居を何回も聞いていて、しゃべるセリフも分かっている、笑わせる場面も知っているのですが、まるで古典落語のように毎回大笑いするのです。作品の面白さをいろいろな言動で伝えるから面白いと思います。毎回楽しみにしています。とても学び多い学習会をありがとうございました。笑いの文化を学校で教育して位置づけることの大切さを感じました。「学校に笑い」を教えられました。金森さんはナマの（現実）生活・文化が人をつなぐハッピーを作ることを、自分の実践を通して語られた。具体的実践を通じて意味づけることで、今、何が大切かを教えられました。学習を通して、自分の生活、人を見つめなおすことが生きる学びなのだ実感

しました。

土曜参観で金森先生のところから見させていただきました。ナマのもの、生活の中のものを追求していくことの価値や意義を感じました。それこそ、子ども達が動き出す原動力だと。これからの学校、授業を見直し、子どもと共に創っていこうと強く思いました。

学級の子どもたちがいろいろ発表できる空間・時間が保障され、ちゃんと受け止めてもらえる安心感があってできあがった探偵団なのだなと思いました。人とつながるためにはこれがとても大切なのですね。

野間先生の世界に完全に引き込まれて、是非、子ども達にも体感させてあげたい！！と思いました。絵本の読み聞かせについて、疑問に感じていた事が、いくつも（自分の中では）解決されたり、解放されたりしたので、お話をお聞きできて本当に良かったです。是非、夕日寺小学校に来ていただきたいです！それに金森先生のお話についても、今、小6の男の子と年少の女の子を持つ母として、また、地域の子ども達を見て感じる人が多い。大人として、はっとさせられることが沢山ありました。金森先生のお話は7年前くらいにもお聞きしていましたが、実際子どもが大きくなり、小学校生活から中学目前になった今まで、いろいろと迷うことが多かったです。自分らしくあってほしい、自由であってほしいと願ってきた親のつもりが、振り返れば、目の前の学校生活、学校から「良い」とされることにわが子の顔を見つめることを忘れて、評価ばかり気にしてしまっていたように思います。今からでも、大丈夫でしょうか？取り戻すことは難しいかも知れませんが、今からでも目を見て一緒に大笑いしていきたいです。小学校の保護者にも一緒に先生のお話を聞きたいです。

現在幼稚園の年少に通っている娘がいます。現在住んでいる地域の小・中学校は、9年間1クラス20人弱でいく学校に通わせることになると思います。（1学年20人弱です）少人数での教育のデメリットがとても不安なのですが、過疎地域での教育について金森先生、野間先生のご意見をお聞かせいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。もう少し人数の多い地域に転居することも考えています。

金森先生、野間先生、ありがとうございました。「他者の共存！」大切なものを守るためにこれからもたくさんの人たちとの関わりを大切にしていきたいと思いました。久しぶりにのまりんの紙芝居を楽しませていただきました。ありがとう！金森先生ご自愛ください。

今日はとても楽しかったです。毎回のまりんの紙芝居を見るたび、心ゆさぶられ、楽しいということがいかに子どもを、人をひきつける事なのだろうと思わされます。そして、その

大切さをどうしてすぐに忘れてしまい、形に入ってしまうのかな・・・と悲しいかな。反省させられます。一緒に楽しめる人でありたいなと思いました。金森先生の話はあの時間では短いくらいで、正直もっと聞きたかったです。

金森先生、野間先生、ありがとうございました。野間さんの紙芝居をこんなに長時間楽しませてもらえることは、めったにないことでした。満喫させていただきました。ぎゅうぎゅう詰め为学校現場でどうやって教室に風をふきこませていくか、今日みたいな笑いが自然に起こるようなクラスにしていくために、もっと力を抜いて子どもに向き合っていけるような職場になっていくように、クラスはもちろん職員室にも文化の風を吹き込んで行きたいと思いました。逆にもっと金森さんのお話を伺いたかったですが、先生がもっとも伝えたいと思っておられることは伝わりました。子どもの内に問いが生まれるように、その瞬間をもてるように種をまきつつ、また、生まれた問いを大切にしていけるようにしていきたいと思いました。

子ども二人ともが学校嫌いで困っていますが、今日の話聞いて、嫌いになっても仕方ないのかなと思えるようになりました。あせらず、いろんな事を体験して(させて)子育てをしていきたいと思います。

紙芝居の良さを知りました。続けたいと思います。(ちいさな絵本カフェを開いています)

金森先生、のまりんの講演(コンビ)がとても素晴らしい。また聞きたいです。心のこやしになりました。今後子どもたちの世界にもっとも大切なことだと思いました。

金森先生、命の重さ、深さのセミナーこれからも定期的に続けてほしいです。金森先生、のまりんのお二人ともこれからもお元気でいらしてください。明日も子どもたちと共存しようと、大声で口をあけて笑おうという元気で勇気を頂きました。子どもたちにこの感動をつなげます。ありがとうございました。

野間さんのお客さんをひきつける力、すばらしかった。紙芝居、子どもたちにいかに面白さを伝えるかという姿勢が勉強になった。教科書には書かれていないナマの大切さ。五感で感じる、学ぶ大切さ。勉強になった。

野間先生と金森先生の最強タッグ、とても良かったです。また、本日のような講演があったらいいなと期待しています。ありがとうございました。

紙芝居を通して笑うこと、のめり込むことのおもしろさ、文学の深さを知ることができた。

紙芝居は絵だけを全体に見せるため、読み手の読み方で惹きこまれていることが分かり、楽しい時間になった。

紙芝居の面白さを最大限に引き出す野間さんの人間性にびっくりしました。こんなにたくさん笑ったのはなんだか久しぶりでした。沢山の人たちと一緒に声を出して笑うことっていいな！と改めて感じました。今日も楽しかったです。ありがとうございました。

小学生ぶりにのまりんの紙芝居を見ることが出来、とても嬉しかったです。子どもたちに安心できる場だと思ってもらえるように、日々関わって生きたいと思います。

子育ての参考になりました。息子にとって良い共存者、他者になりたいと思いました。金森先生、野間先生、これからもお元気でご活躍をお祈りしています。道で転んでしまいましたが、親切に手当てをしてくださってありがとうございました。

ありがとうございました。いつもながら力強い金森先生の言葉に涙がでそうになりました。野間先生の楽しいのは、いつもながらでした。本当にありがとうございました。自分の出来ることをコツコツと頑張るしかないですね。今日は励まされました。金森先生、元気でいてくださいね。

久しぶりにのまりんの紙芝居を見て、大声で笑って、私は小学校の支援をしていますが、子どもと大声で笑っていないなと思いました。学校は最近学力をつけることばかりで、私も少しでも出来るようになったほうがいいと思っていましたが、今日の話聞いて、本当にそうかな、でも、今の学校ではどうしようもないような。。どうしたらいいのか。。いろいろ思いました。先生方も大変だと思います。

思いっきり笑い合える共存的他者をつくる、安心であたたかい居場所を作りたいです。

普段、野間先生が「ライブ・ライブ」といっている意味が改めて理解できました。紙芝居と金森先生のお話があり、より良かったと思います。お二人の先生方、どうぞお体を大切に。また「ナマ」でお話を聞かせてほしいと思います。

今年も元気をいただきにまいりました。

「そうだな、そうだな」とうなずきながら聞きました。のまりんの紙芝居、大笑いして楽しんで、深いな～と思います。次回（あるといいな）も是非参加したいです。

楽しい、面白いをたっぷり味わった後の学びの時間が、意空間になりました。これで、最

後だということですが、3回目もあるといいなと思います。いろいろなつながりがハッピーでした。

10年以上ぶりに紙芝居を観ましたが、とても楽しめました。野間さんの役者っぷりがすばらしかったです。今回、金森先生に一度お会いしたく、京都から講演を聞きに来ました。野間さんの紙芝居も含めて、とても楽しみながら学ぶことができました。ありがとうございました。8月に滋賀で行われる講演会も楽しみにしています。

ありがとうございました。紙芝居でこんなに笑ったのは初めてで、野間さんが大切にしたいことも紙芝居を通して伝わってきました。今度のゼミ、みなで「森のキツツキさん」しましょう。

私は紙芝居の中で「おじいさんといぬ」がとても印象に残っています。たった一人でも自分を認めてくれる人がいるという喜び、安心感の大切さを感じました。金森先生の話の中であつた、「子どもの行動力」に驚かされました。子どもたちの行動力をつぶさないようにしたいです。

のまりんの紙芝居、とても楽しかったです。始まる前の、のまりんのニコニコした表情を見ただけでわくわくしました。人を引き寄せるものをもっていると感じました。ひとつひとつの紙芝居に引き込まれ、大勢の大人が声を出して笑い、一緒に参加し、楽しめたということがとてもすごかったです。小学生の子どもたちにもっとこんな楽しい紙芝居を見せたり、わくわくする気持ち、楽しむ気持ちをあじあわせたいなと思いました。

子どもたちが学校に行きたい、来て良かったと思えるような学校にしていきたいと強く思いました。私は今、講師として小学校で働いていますが、教師は子どもにとってどれだけ影響がある存在か考えさせられました。野間さんの紙芝居は二度目でしたが、とても面白くて楽しい一時をすごせました。ありがとうございました。

ダメなことだと分かっているけど、ため息をつくことの多いこの頃でしたが、野間先生の紙芝居とお話で、久しぶりにとてもよい笑いが出来ました。こんな笑いの大切さを実感としてよく分かりました。野間先生の実演とのセットだったため、金森先生のお話された、今必要なこと、大事にしなければならないことが具体的にリアルに分かりました。ありがとうございました。

こちらの短大を卒業後、科目等履修生として図書館司書の資格を取りました。子どもたちや0~2歳児の読み聞かせや手あそび、子ども、また、大人への対応にも考えさせられるこ

とが多く、感謝しております。やはり「楽しい」は嬉しい。今、仕事で調べ物をしていたら、先生方のお名前を発見して、嬉しく、誇らしく思っています。

笑っていることが一番。いつも笑って太陽でいたい。ありがとうございました。

野間さんの紙芝居、どのお話もとても面白かったです。「でんしゃがくるよ」「やまぶし石」前後編、「わにがめどりをたべないわけ」は見たことがあったのですが、読み方、演じ方、見せ方次第でこんなにも変わり、面白くなるのだと感動しました。質問なのですが、野間さんはどんな基準で紙芝居を選んでいるのですか？私も現場で子どもたちと大笑いして過ごしたいなと思いました。金森先生、いつもありがとうございます。話がすごいのは言うまでもないから、身体だけ大事にしてくださいね。

自分の教室で大きな声で笑えている子が何人いるだろうと考えました。学校が息苦しくなっているように感じられ手いますが、今日野間先生や金森先生からエキスをいただけたので、学級で少しでも活かしていきたいと思います。

のまりんのお話を初めて聞きました。友人（ママ友）が「とってもおもしろいから、図書館に行こう！」と誘ってくれた理由が分かりました。「楽しいよ」の一言では伝わらない楽しさ。やっぱり「生」だなと思いました。すぐに帰って、子どもに絵本ですが、読んで楽しみたいと思いました。金森先生のお話はいつも勇気が出てきます。私も先生の生徒だったらなあと毎回思います。

自分は紙芝居をするのをどうしたら子ども達にと考えていて、今回教えてもらったことを活かして、将来紙芝居のプロになりたいなと思いました。

こんなに満足した講義はありませんでした。卒業を前に金森先生や野間先生に会えて幸せでした。本当にありがとうございました。

のまりんの紙芝居は私が知っているものではない！遠くの席から見ている絵はあまり見えなかったが、のまりんの表情や仕草、神のめくり方の抑揚、まるで劇！まるで落語！物語が目の前に浮かんできた。引き込まれました。楽しいの一言に尽きます！大きな笑い声、安心感は確かに今の現場に欠けていると思った。もっと温度のある教室になればいいと思った。

紙芝居の中から、聞きなれない呼び方や言葉が出てきて、学ぶ機会になった。「やまぶし」など私は小さい頃から紙芝居は好きだった。今も好きだと思えた。

野間さんの紙芝居では、今失われつつあること、国境を越えて親しめることを改めて知った。金森のいのちの授業、模擬授業は盗むものが沢山ある体に差し支えなければ復活を待っています。

野間さんの紙芝居で声の調子とか幼稚園で紙芝居は終わってしまうということが聞いてよかった。金森先生の今の子どもに大切なもの、必要なものの話が聞いてよかった。

参加してとても良かったです。紙芝居がとても大好きです。将来子どもに読んであげられる人になりたいと思っているので、とても参考になりました。

今日は、本当に来る価値のある講演会でした。野間さんから金森先生からも大切な事を学ぶことができ、とても良かったです。特に金森先生のお話は授業をとっていないので、とても貴重でした。

家に紙芝居のセットがあって、小学校のときに学校へ持っていったことを思い出しました。

紙芝居の魅力、その文化のすばらしさをとても感じました。また、「ナマ」、実物の重要性を再確認した。

大人でも、あんなに紙芝居を楽しめると思っていませんでした。とっても笑いました。

自分が思い込んでいたことが一気にひっくり返ったような気がした。とても心が動いた。

教育を勉強する上で貴重なお話を聞くことができ、とても良かった。紙芝居についてもっと知りたい。

のまりんの紙芝居を初めて見て、子どもたちが楽しむ理由が良く分かりました。実際私も一緒になって笑い、楽しむことが出来ました。金森先生にも良い話を聞かせていただき、良い時間にできました。

今回の REDeC で野間さんの紙芝居がすごく面白かったです。始まりからとても引き込まれ、時間がいつの間にか終わっていました。12 枚のお話のすばらしさがとてもよく分かりました。



のまりんの紙芝居をかなり久々に見ることが出来てよかった。やっぱりのまりんの紙芝居は最高です。

今日もありがとうございました。そして、お帰りなさい。現代は進化して便利な世の中になってしまった分、良い面はたくさんあるけど、その効果と同じくらいに子どもの成長していく中で欠けているものも出てきた。時代の流れになって、その重要さに気づいてない人が多い。改めて、現代の教育法のピンチだということが分かった。

紙芝居の楽しさを子どもたちに伝えるために、読み方、演じ方を考えることが大切だということが分かった。紙芝居をただの文化にせず、「楽しいもの」として子どもたちに伝えて生きたいと思った。

のまりんの紙芝居がとても楽しかった！！紙芝居の表現のふりはばを沢山知ることが出来てよかった。自分の中の紙芝居の考え方が変わった。

のまりんの紙芝居をナマで見ることが出来てよかったです。心の底から、紙芝居で笑ったのは今日が初めてです。金森先生が言っていた、「教育はアートである」という言葉が印象に残っています。今回のような貴重な講座に参加できて良かったです。いい時間が過ごせました。

紙芝居を久しぶりに見たのですが、セリフなどを見ないでアドリブを入れて演じているのがすごいと思いました。トークも面白く、引き込まれました。参加型の紙芝居があることを初めて知ったし、参加型だけでも楽しいのにアドリブがおもしろかったです。

のまりんは、小学校の頃、よく来ていて、のまりんの紙芝居があると言われたら必ず図書室に言っていた。今回のセミナーも「のまりん」と聞いて懐かしくて来た。相変わらず面白いし、子どもの心が良く分かっていると感じた。金森先生もいつも聞いている話もあったが、何度も聞くことで、私の中に入ってくる。このようなすばらしい先生が教育者を育てていることはすばらしいことだし、やめてしまうのは残念だと思う。教育者になるにも、保護者になるにも、今日の講義は、将来役に立つと感じた。

のまりんの紙芝居を見るのは小学生ぶりの2回目でした。紙芝居とはあまり接点がなく、見る機会も少なかったが、今回を通してとても興味がわき、ひきつけられました。沢山の人も巻き込むのが紙芝居というのはもちろんのこと、ライブで演者としてしている野間さんがすばらしいなと思いました。「ナマ」のものとはどういうものかを体験して身にしみて分かることが出来た良い機会になりました。ありがとうございました。

防災紙芝居を製作しているのですが、教育っぽくユーモアあふれた感じに作るには何か大切なことがありますか？教えてください。

のまりんの紙芝居、非常に楽しませてもらいました。まさに紙「芝居」でしたね。とても明るい気持ちにさせてもらいました。沢山笑いました。「下手な教育論より紙芝居」だと感じました。「紙芝居」のところには、他にも色んな「ナマ」の文化が入るのだと思います。普段、ずっとその中にいると鈍感になってしまっただけに見える、今の世の「息がつかない感じ」について考えさせられました。僕も芸術家の一人として、ナマの文化をたくさんの人たちに届けていこうと思います。

近年の教育テキスト中心の学習や総合の時間を復習や補習の学習に利用している様子を見ると今回の講座でおっしゃられた「ナマ」「リアリズム」のこだわりの重要性が良く分かりました。ありがとうございました。